

No.1 キーワード： 田畑輪換、ICT技術導入による減肥、機械の共同利用

北海道岩見沢市

基本情報

- 気候：稲作期間は比較的温暖、豪雪地帯
- 土質：泥炭地
- 従事人数：4人(家族のみ)
- 水稻の作付けは主食用のみ
- 乾田直播の導入：H15年産

品目	作付面積 (ha)	平均区画 (ha)
無代掻き移植	3.8ha	1.1ha
乾田直播	6.9ha	
小麦(間作)	11.0ha	
大豆	8.7ha	
デントコーン	2.2ha	
なたね	2.1ha	
その他	1.1ha	

経営方針(重視・優先していること、こだわり等)

- 乾田直播の導入と田畑輪換による生産コストの低減
(水稻と転作作物との輪作を通じた経営全体の底上げによる農業の展開)
- 基盤整備によるほ場の大区画化と地下かんがい設備の導入による作業の効率化
- 農作業の共同化及び農業機械の共同利用によるコストの低減、農業機械の汎用化
- ICT技術(RTK-GNSSを活用したガイダンスシステム、自動操舵)の導入による精密農業の展開など

稲作の施肥・防除におけるコスト低減の取組

<減肥>

- ・田畑輪換による乾土効果の発現
- ・ICT技術の導入による散布量の低減

<減農薬>

- ・田畑輪換の導入による病虫害・雑草の発生抑制

<労働時間>

- ・ほ場の大区画化による作業の効率化
- ・無代掻き移植、乾田直播の導入による省力化
- ・田畑輪換により雑草や病虫害が抑制され管理労力が低減
- ・ICT技術の導入による施肥・管理作業の省力化

<農業機械>

- ・乾田直播の導入による畑作作業機の汎用化を図るとともに、播種機やレーザーレベラー等の農業機械を共同化している

導入効果

<肥料費>

- ・畑からの復田により ▲約4割
(水稻連作との比較)

<労働時間>

- ・直播導入により ▲約7割
(移植栽培との比較)

<農機具費>

- ・機械の汎用化・共同化により ▲約6割
(機械を単独で使用する場合との比較)

<全算入生産費> ▲約2割

(農林水産省農業経営統計調査
平成22年産米生産費(北海道)との比較)

支援体制

<自主的学習組織>

- ・JAいわみざわ直まき研究会(水稻直播栽培の研究)
- ・いわみざわ地域ICT(GNSS等)農業利活用研究会
(RTK-GNSSなど農業のICT技術導入・活用に向けた研究)

<外部組織>

- ・空知地域課題解決PT(振興局・試験場・普及センター)
(地域の特定課題解決に向けたプロジェクトチーム)

課題・今後の目標

<直播栽培の導入に係る課題>

- ・機械の導入コストと有効利用
- ・復田時の高タンパク対策、復田時の保水性、畑転換時の排水性対策
- ・田畑輪換による地力の確保
- ・播種量の低減と苗立本数の確保
- ・効果的、効率的な雑草対策 など



RTK-GNSSレーザーレベラーによるほ場均平作業